

# 阿波まちかど

<http://toku-sikai.sakura.ne.jp/arc/>

建築士4月号附録 昭和28年2月23日第3種郵便物認可 毎月1回発行 発行/公益社団法人 徳島県建築士会 TEL088-653-7570 FAX088-624-1710

●とびっくす●

## 「増田友也設計の建築物 見学会」を開催して

鳴門地域会 福田 頼人

こんにちは、みなさん、建築家・建築論研究者の増田友也氏をご存知でしょうか？ 昨年は、増田友也氏生誕100年ということもあり、京都大学をはじめ、各新聞社も、彼の建築界に与えた影響について取り出されています。建築論研究者としての業績もひろく知られていますが、当時「東の丹下健三、西の増田友也」と称されたように、主に西日本を中心に100件もの建築作品を設計しております。中でも鳴門市においては、市役所をはじめ、幼稚園、小学校、中学校等、19件もの建物が集中して建てられており、現在もなお建立しています。

今回の見学会は、建築論を説いた増田氏がどのような意図を持って設計したのか、それを説くべく、鳴門市文化会館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、市役所、市民会館、共済会館の建物の中を参加者の皆さんと歩き、空間を感じてもらい見学会を開催いたしました。また、文化会館周辺的设计担当された、前田忠直氏（京都大学名誉教授）を招き基調講演をしていただきました。当日は県内外より100人を越える人に参加していただきありがとうございました。



▲鳴門市文化会館（1982）は、日本の「公共建築物100選」に選出されています。



▲築50年を超える鳴門市庁舎（1963）市民会館（1961）は、「DO-COMOMO japan 選定」（日本の近代建築150選）に選ばれています。古いと言わず、よ～く見てみてください！



▲粘土模型



▲増田友也（ますだともや）略歴 建築家・建築論研究者  
1914年 兵庫県南あわじ市生まれ。1939年 京都大学工学部建築学科卒業。1950～1978年 京都大学講師、助教授および教授。1956年 工学博士。1975年 シドニー大学客員教授。1978年 京都大学名誉教授。1981年 死去（67歳）文献：『増田友也著作集』全5巻、ナカニシヤ出版、1999



# 横内敏人「和の作法」講演会に参加して 2.21(土)

徳島県立徳島科学技術高等学校 建設技術類 建築コース2年生



## 釜内 優多

今回、建築士会の講演会に参加して、貴重なお話を聞くことができました。自分が将来建築関係の仕事に就くことも視野に入れているので、参考にすることができました。

スライドの中で、先生が当時アメリカに滞在していた頃の写真があり、関心を持ちました。また、京都より奈良の方が歴史的な建物が多ということも初めて知りました。自分も何回か京都に行ったことがありますが、中心部に行くと、歴史的な建物は少ないように思いました。

これからの日本の建築において、昔ながらの建築と現代の建築を両立させていくことが、和の文化を次の世代に伝えていくための大切なことだと思いました。

将来、自分で建物を設計する時は、和の文化、伝統を考え、日本らしい建築ができるようにしたいです。

## 中野 迅人

今回初めて建築家の方の講演会を聴き、貴重な体験をさせていただきました。横内敏人さんによる「和の作法」についてのお話は高校生の私にも分かりやすい内容で、一緒に考えていけるような楽しいものでした。横内さんにとっての和とは「古い日本の文化だけを取り入れず、西洋の文化や新しい文化等を両方取り入れ、そこに日本らしさを感じられるようにする」といったことでとてもおもしろいと感じました。スライドで映された建築物にはすべてその「和」が取り入れられていて、どれもどこか和を感じさせるようで、とても素晴らしく感じました。

「和の作法」のお話以外に建築家としての目線や、行っていること等も聴くことができました。空間を把握するためにスケッチをしていることや、日々の生活の中で常に空間の過ごしやすさや、家具の使いやすさ等を意識しながら生活すること等、私も意識して行っていきたいと思いました。

## 河野 裕美

「和」の創造的あり方について横内先生から2時間お話を聞かせていただきましたが、住宅の設計において常に興味を持っておくことは現代の日本の家はどうあるべきか、なのかなと思いました。これは講演中に横内先生が言われていたと思います。日本的な設計と言えば、伝統的な日本文化を思い浮かべますが、横内先生はそうではなく、それも含んだ上で西洋と近代を受け入れ、今や先進国となった日本の国らしさとは何なのか、ということ住宅を通じて考えている、とても日本のよさを引きだそうとする設計士さんだな、と思いました。横内先生が設計する住宅は窓が多くとても開放的ですが、住宅だけでなく“庭”をととても大切にしているなと思いました。常に庭と家を一体で設計しているようです。「家庭」という言葉が「家」と「庭」で成り立っているように、庭は人間が生活していく中でなくてはならない要素だと思いました。あまり庭を気にしてはいませんが、横内先生が設計した住宅を見ていると設計に対する見方が変わりました。横内先生の設計した住宅に住んでみたいと、写真を見て思いました。また、横内先生がおっしゃっていたことを今後設計する中で、活かして行こうと思いました。とてもこれからの勉強に役立つ講演でした。

# 「杉の話」

徳島地域会 赤尾 苑香

「杉の話」を聞いてきました。

2月に開催されたTSウッドハウスの和田善行さんによる徳島支部の第2回勉強会です。



今回、急きょ会場変更の場となって使わせてもらったのが、沖浜町にある「aizyu tokushima basement」という多目的スペース。勉強会の内容にぴったりの県産杉を使用して改修したアパートの一室でした。

日ごろ杉とは、仕事ではもちろんのこと、プライベートでも大いに関わらせていただいています。

そう、花粉！今年も始まってしまいました、、、

そんな杉の話の中で和田さんが、「絶対聞いて帰って！」とおっしゃられていたのが、下の写真にある「仮道管（かどうかん）」について。



仮道管とは、維管束のあるすべての植物の茎幹にみられる組織のことです。管の目の大きいところが春から夏の生長の盛んな時期につくられた「春目」「早材」と言われる柔らかい部分。目の詰まっているところが「秋目」「晩材」と言われ、夏から秋の遅い時期に生長する部分で、季節によって生長の差がはっきりしているため、1年毎の生長を読みとることができるのだそうです。

秋目の次には活動が停止してほとんど生長しない冬目があり、この春目、秋目、冬目を順番に繰り返して季節のある国の樹にしかない年輪ができていきます。

構造材としてそのまま使用されるログハウスの丸太や化粧材として床柱に使用する磨き丸太等は、この堅い秋目の時期に伐採された樹だそうで、理由を聞いてなるほど〜！でした。

このような春目や秋目で伐採され、葉枯らし乾燥のために数ヶ月間林内に放置される樹たちは、すっぱりぱっさり伐られているにも関わらず、当の本人、生きていると思っ光合成をし続けているのだとか。何とも切ないお話よ、、、

これにG藤さんが一言、「人生の様」。

この日、勉強会の中で印象的だったのが、「杉のことが大好きで、杉のことばかり考えている」という和田さんのお言葉です。その言葉通り、杉への想いや愛情がとてこもった勉強会でした。改めて杉や林業について知ることができました。

さて、最後にこちら「きころん」。



みなさまご存知でしたか？

私はお初にお目にかかったのですが、きころんを見つけるなり「あ！きころん♪」とすぐさま写真撮影に入ったY藤さん。そんなに有名なん!?と思って後ほど調べてみたところ、きころんは美馬地域の森林木材をはじめ、地域資源のPRのために誕生した木のキャラクターなのだそう。地元愛のY藤さん、どうりで！

私と同じく初きころんだった方！以後、このキュートなお顔をお忘れなく♪

## あゝ、支部だより

板野地域会 石井 哲夫

早いもので、また「支部だより」が回ってきました。今回ばかりは書くことがありません。前回、何を書いたのか原稿を見てみますと、支部活動ができていない言い訳ばかりで終始しています。言い訳が使えないとなれば、完全にお手上げです。さてさて、この原稿の余白をどうして埋めたらよいものか思案の六法、そう言えば阿南の青木さんは「阿南は良いところ」みたいなことを書いて穴埋めをしておりました。そこで、今回は板野地域のことについて述べてみます。

まず板野地域会の縄張りですが、松茂、北島、藍住、板野、上板、阿波市、それに大麻と応神が基本で、一部それ以外の地域にも勢力を広げております。中でも、北島と藍住町はこの少子化社会にあって、唯一人口が増加している地域です。周りから観れば、大型店舗ができて人がたくさん集まり、発展しているように見えますが内実はそうでもありません。昔は、県外資本の大型店舗といえばスーパーマーケットぐらいでしたが、今は電器屋、薬屋、食堂、雑貨屋に至るものまで全国展開のものばかりで、雇用はほとんどが非正規です。昔のように地域経済を潤すようなものはありません。このことは、北島や藍住町に限ったことではなく、全国のいたる所で全国展開の事業所が小規模な事業所を廃業に追い込むような事態になっています。

ところで、一昨年から「小規模事業者新事業全国展開支援事業」なるものを中小企業庁が実施しています。地域の商工団体を中心に、小規模事業者が共同で取り組む、地域資源を活用した特産品や観光資源の開発、販路開拓等を総合的に支援するというものです。小規模事業者も全国展開しなさいということなのでしょうか。

建設業においては、スーパーゼネコンのような存在がありますが、地域のゼネコンが下請けに入ることで共存でき、また工事規模で棲み分けがなされてきたように思います。また、住宅分野においても、全国展開のハウスメーカー、地域のハウスメーカー、あるいは工務店等が共存しております。これは、住宅産業が物品販売みたいに大量販売におけるスケールメリットがあまり発生せ

ず、むしろ全国展開にかかる経費が大きいために、建築コストによる棲み分けがあるようです。しかしながら、地域の小規模事業所の衰退は地域活力の衰退でもあり、地域の建設産業への影響も大きなものがあります。

ここで、話が少し飛躍しますが、私たちは資本主義経済圏に属しています。ソ連の崩壊によって社会主義経済が行き詰まり、資本主義経済が勝利したように見えますが、資本主義もやがては行き詰まるという説があります。それは、資本主義は絶えず利潤を追求しなくてはならず、そのためには人の雇用さえも邪魔なものだからです。たとえば、現在、非正規雇用を認めることで企業は利益を上げています。そして、コンピューターの飛躍的な進歩が人を必要としない社会をめざし始めています。グーグルは5年以内に無人で動く自動車を実用化させると言っています。そうすれば、タクシーやバス、トラックの運転手はいりません。また、ハウステンボスでは無人のホテル計画が進行して、フロント業務も人工知能を持ったロボットが行います。これまで、サービス業はロボットにはできないと言われてきましたが、人工知能の進化はめざましいようです。となれば、ロボット産業が有望ということになります。ロボットを作るロボットというのも出現するでしょうから、いったい人はどうやって暮らしていけばよいのでしょうか。本来、人が必要とするものが流通するのが経済であるにも関わらず、その人の存在を邪魔もの扱いする資本主義は行き着くところのない拡大を続けています。

話が脱線してしまいましたが、膨張し続ける資本主義経済から地域を守るためには、地域でできることは地域ですという地域主義的な考えが必要になってきます。昨年、建築士会に地域会が発足しました。地域主義を意図したものではありませんが、私たちの職域を守ることと地域主義は合致していると思います。建築士会の活動の中に、地域主義のプロパガンダがあってもよいような気がします。ということで、地域会と地域主義のこじつけができたところで、「支部だより」の完了とさせていただきます。

●新連載—建築あれこれ●

# ウォーキング中に出会った、ちょっと気になる建物

徳島地域会 福井 一博

お散歩探偵福井一博さんがウォーキング中に見つけた、ちょっと気になる建物をご紹介します。

福井さんご自身のコメントもありますが、ほとんどは編集子が勝手にコメントをつけていますので、失礼の段があれば編集部へ。

1月27日

ウォーキング中に出会った、ちょっと気になる建物  
混構造のスキップフロアの住宅のようです。



編集子コメント

窓が広い。切妻が美しい。家にお金を掛けすぎて自動車までは手が回らなかったか？

1月29日

宗教施設です。



編集子コメント

昔の米屋さんてこんな感じかな？

1月30日

伊予街道沿い（徳島市内）にある建物です。徳島市内の建物でうだつがあるのは稀ではないでしょうか。



編集子コメント

阿波のまちなみ研究会は、もう既に調査済みでしょうか？

1月31日

ウォーキング中に出会った、ちょっと気になる建物  
建築設計事務所のオフィスです。



編集子コメント

いかにも、ですねえ。

おや、本当に烏賊に見えてきた！

●士会だよりー本部●

平成27年度第64回通常総会

次のとおり、通常総会を開催します。みなさん、お問い合わせの上お越しください。

と き 平成27年5月23日(土)  
 総会及び懇親会  
 ところ 徳島県建設センター6階

●士会だよりー本部●

会員証の発行について (ご案内)

本会では、会員証の有効な活用について、検討いたしましたところ、下記の書籍販売店が会員証を掲示することで、何かと協力を賜ることになりました。

なお、この会員証はご家族の方もご利用ができますのでお知らせいたします。

小山助学館 本店 (徳島市万代町 H27.4.13 open)  
 小山助学館 福島店  
 小山助学館 さくら書房 三加茂店

●士会だよりー本部●

平成27年度 一級・二級・木造建築士定期講習

平成24年度・受講者の方は、平成27年度に更新になります。

前回、(公財)建築技術教育普及センター (徳島県建築士会) での受講の方は、普及センターよりグレー (窓付きの封筒) で申し込み用紙が発送されますので、同封申込書にて平成27年度中にご受講ください。

また、新規ご受講の方は、(公社)徳島県建築士会・TEL088-653-7570までご連絡いただければ、申し込み用紙郵送いたします。

平成27年度開催予定は下記のとおりです。

7A-01 平成27年 7月15日(水) 会場：徳島県建設センター

\*7A-02 平成27年 9月10日(木)  
 会場：徳島県建築士会・会議室

\*7A-03 平成27年10月14日(水)  
 会場：徳島県建築士事務所協会・会議室  
 \*7A-04 平成27年11月11日(水)  
 会場：徳島県建築士事務所協会・会議室  
 \*7A-05 平成27年12月 9日(水)  
 会場：徳島県建築士事務所協会・会議室  
 \*7A-06 平成28年 1月13日(水)  
 会場：徳島県建築士事務所協会・会議室  
 7A-07 平成28年 2月17日(水) 会場：徳島県建設センター

7A-01 平成27年度7月15日(水)開催講習につきましては、受付期間 平成27年4月1日(水)~6月30日(火)まで受け付け致します。

\*7A-02~7A-06は、定員20名です。(DVD 講習) 受講受付は、(公社)徳島県建築士会事務局です。

※次回編集会議は 4月23日(木)16時30分から

建築士・宅建・各種施工管理 建設関連国家資格の老舗

合格実績 No.1 あなたの「夢」応援します。

**日建学院**

(株)建築資料研究社 〒770-0865 徳島県徳島市南末広町1-16  
 日建学院 徳島校 TEL:088-622-5110  
 FAX:088-655-9017

編集後記 .....

- ・定年退職して1年が過ぎました。この1年間に何を成し遂げたか? 聞かないでください。 (ノーリツ号)
- ・ikanago, shirasu (gen 子)
- ・kafunsho (ちりめん)
- ・nashinohana! (tyuu 西)
- ・ataatakaine! (ぺぺい)

建築士会本部行事案内 平成27年

4 月			5 月		
2日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)	1日(金)	第1回理事会	(士会会議室)
7日(火)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)	7日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)
8日(水)	建築相談	(士会会議室)	12日(火)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)
	支部長会議	(士会会議室)	13日(水)	建築相談	(士会会議室)
9日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)	14日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)
14日(火)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)	19日(火)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)
15日(水)	セピア	(士会会議室)	20日(水)	セピア	(士会会議室)
16日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)	21日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)
21日(火)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)	23日(土)	第64回総会	(建設センター)
	総務財務委員会	(士会会議室)	26日(火)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)
22日(水)	第1回常任理事会	(士会会議室)	27日(水)	建築相談	(士会会議室)
	建築相談	(士会会議室)	28日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)
23日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)			
24日(金)	会計監査	(士会会議室)			
28日(火)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)			
30日(木)	木造住宅耐震相談	(士会事務局)			